

《 学 校 教 育 の 充 実 》

事業名	平成 28 年度 当初予算額	平成 27 年度 当初予算額	差引増減額	内 容
9 心豊かな児童生徒育成 推進事業費	千円 709,130	千円 691,547	千円 17,583	<p>1 生徒指導推進協議会費 743 千円 (743 千円)</p> <p>(1) 生徒指導推進協議会費 129 千円 (129 千円) 生徒指導上の諸問題の未然防止のための対応の在り方を協議する。 協議会 委員 12 人、年 3 回 いじめ相談機関等連絡会 8 機関 11 人、年 1 回</p> <p>(2) 地域協働生徒指導推進事業費 614 千円 (614 千円) 社会性を身に付け、自立した若者を育成するため、各学校が核となり地域が一体となって生徒指導を推進する。</p> <p>2 いじめ防止対策推進費 国庫 1/3 2,403 千円 (2,403 千円) いじめ防止対策の調査審議や県立学校で発生した重大事態等についての調査を行う「愛知県いじめ問題対策委員会」、関係諸機関との連携を図る「愛知県いじめ問題対策連絡協議会」、いじめ事案に係る事実関係等の把握や指導・助言を行う「いじめ対応支援チーム」を設置し、いじめ防止対策を推進する。</p> <p>3 スクールカウンセラー設置事業費 国庫 1/3 670,570 千円 (670,840 千円) 児童生徒の問題行動等の未然防止や、児童生徒が抱える心の問題への対応及び支援の充実を図るため、児童生徒・保護者または教員への相談等にあたる「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置する。 また、緊急支援への対応及び学校でのカウンセリング経験の少ないスクールカウンセラーへの適切な指導・助言のため、スーパーバイザーを配置する。 配置：小 学 校 196 人 4 校に 1 人の拠点校配置を継続 中 学 校 306 人 全校配置を継続 高等学校 53 人 スーパーバイザー 5 人 悩みや不安を抱える児童生徒や保護者等がいつでも相談ができるよう、365 日、24 時間の電話相談対応を行う。 「子ども SOS ほっとライン 24」の設置</p>

重点事業・新規事業 4

重点事業・新規事業 4

《 学 校 教 育 の 充 実 》

事 業 名	平成 28 年度 当 初 予 算 額	平成 27 年度 当 初 予 算 額	差 引 増 減 額	内 容
重点事業・新規事業 4	千円	千円	千円	4 スクールソーシャルワーカー設置事業費 国庫 1/3 19,512 千円 (6,460 千円) 福祉に関する資格や専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーを6人配置し、問題を抱える高等学校生徒の環境(家庭を含む。)に働きかけをして、関係機関等と連携をとりながら生徒の学校生活への適応や社会的な自立を支援する。
重点事業・新規事業 4				5 スクールソーシャルワーカー設置事業費補助金 (新規) 国庫 1/3 4,800 千円 市町村においてスクールソーシャルワーカーを設置する経費を一部補助する。 補助対象：市町村 (中核市を除く) 補 助 率：1/3 (ただし、1 市町村あたり上限 800 千円)
重点事業・新規事業 4				6 不登校対策実践研究事業費 国庫 10/10 2,622 千円 (2,622 千円) 不登校、暴力行為、いじめ等の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応など、児童生徒の支援を行うための効果的な取組について調査研究を行う。
				7 ネットパトロール事業費 8,479 千円 (8,479 千円) 県立学校に関するインターネット上の学校非公式サイト等を定期的に検索・監視を行い、インターネットを介したいじめやトラブル等の未然防止、早期発見・早期対応に資する。

《 学 校 教 育 の 充 実 》

事 業 名	平成 28 年度 当 初 予 算 額	平成 27 年度 当 初 予 算 額	差 引 増 減 額	内 容
10 キャリア教育推進事業費 重点事業・新規事業 5	千円 36,930	千円 24,632	千円 12,298	正規雇用に就かない若者が増加しており、その対策として、社会人、職業人としての基本的な資質や能力を身に付けさせるため、小、中、高、特の発達段階に応じた系統的なキャリア教育を推進する。 小 学 校 地域に学び・語り継ぐ活動 中 学 校 全公立中学校での職場体験 高等学校 全県立高校(全日制)でのインターンシップの実施及びキャリア教育コーディネーターの活用 特別支援学校 就労等の体験
11 愛知総合工科高等学校 専攻科管理運営委託 準備費(新規) 重点事業・新規事業 6	9,784	0	9,784	国家戦略特区の制度を活用した公設民営化に向けて、管理法人の選定や民営化の準備を行う。

《 学 校 教 育 の 充 実 》

事 業 名	平成 28 年度 当 初 予 算 額	平成 27 年度 当 初 予 算 額	差引増減額	内 容
12 学校地域連携教育推進 事業費	千円 1,205	千円 1,205	千円 0	学校（園）間の連携・協働を促進し、子どもたちの豊かな心を育むとともに、地域に根ざした開かれた学校（園）の一層の活性化を目指す。 学校連携仲間づくり推進事業 対 象 校 小・中学校 6校 1校 195千円
13 へき地教育振興費補助金	1,004	1,004	0	1 ふるさと 出会いの創造推進事業費補助金 補 助 先：7市町村 補 助 率：1/2 2 過疎地域スクールバス運営費補助金 対象台数：9台 補 助 率：定額
14 児童生徒学習支援事業費	416	543	△127	学力充実プラン推進事業 全国学力・学習状況調査結果に基づいて、県が作成した「学力充実プラン」や「結果分析プログラム」を有効に活用し、学力向上を図る実践研究を推し進め、学校教育活動の工夫、改善を目指す。 対象 2地域
15 高等学校男女共同参画 推進事業費	2,839	2,944	△105	男女ともに育児への関心をもち、働く女性の活躍について認識を深めるとともに、社会形成に参画する能力を身に付ける。 先進的取組を行っている企業視察
16 あいち理数教育推進 事業費	4,420	3,340	1,080	理数教育のさらなる充実と高大連携により愛知の科学技術教育をより一層発展させ、優れた人材を育成する。 また、「科学の甲子園全国大会」の愛知県予選として、「あいち科学の甲子園」を開催し、生徒の理数的能力の向上を図る。 ・あいち科学技術教育推進協議会 ・知の探究講座 ・あいち科学の甲子園 国庫 1/2 ・あいち科学の甲子園 Jr 国庫 3/4

《 学 校 教 育 の 充 実 》

事業名	平成28年度 当初予算額	平成27年度 当初予算額	差引増減額	内 容
17 あいちグローバル人材 育成事業費 重点事業・新規事業7	千円 94,906	千円 104,067	千円 △9,161	世界を舞台に活躍できる人材の育成 1 あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業費 51,467千円(51,467千円) 2 イングリッシュキャンプinあいち事業費 5,143千円(5,143千円) 3 高校生海外チャレンジ促進事業費 5,000千円(5,000千円) 4 高校生の留学促進事業費 国庫10/10 3,422千円(9,695千円) 5 スーパーグローバルハイスクール事業費 国庫10/10 29,874千円(32,762千円)
18 高等学校海外連携推進 事業費 重点事業・新規事業7	12,838	13,710	△872	本県と提携関係にあるビクトリア州との教員交換、英語教員のビクトリア州語学学校への派遣、タイでの専門高校生海外インターンシップを実施するとともに、これらの成果を普及させることにより、広い視野に立ったグローバル化に対応する人材の育成を推進する。 1 地域英語力強化事業 8,114千円(9,214千円) 2 専門高校生海外インターンシッププロジェクト 4,724千円(4,496千円)
19 道徳教育推進事業費	3,522	3,522	0	実体験の乏しい現代の児童生徒に、いじめや集団行動におけるトラブルを自ら回避・解決する力を身に付けさせるため、道徳教育の実践やさまざまな体験活動、地域貢献活動を行い、人間関係をつくる力やコミュニケーション能力を養うとともに、社会で自立して活躍できる人材を育成する。 研究指定校 高等学校8校、特別支援学校2校

《 学 校 教 育 の 充 実 》

事業名	平成 28 年度 当初予算額	平成 27 年度 当初予算額	差引増減額	内 容
20 外国人児童生徒教育推進 事業費 重点事業・新規事業 8	千円 36,237	千円 36,237	千円 0	小中学校への語学相談員による巡回指導等 国庫 1/3 〔スペイン語〕 配置人員：5 人 〔ポルトガル語〕 配置人員：4 人 〔フィリピン語〕 配置人員：2 人
21 あいちの外国人児童生徒 教育連携事業費（新規） 国庫 1/2 重点事業・新規事業 8	6,799	0	6,799	日本語指導が必要な外国人児童生徒が在籍する公立学校において、NPO団体との協働により、日本語初期指導教室を運営するとともに、その指導方法や指導技術を学校現場に活かす。 また、事業成果を県内市町村に普及させるために、県教育委員会、市町村教育委員会、NPO団体、大学関係者が連携し、取組状況の検証や、指導教材の開発について協議する「学校における日本語教育連携推進会議（仮称）」を開催する。
22 外国人生徒等支援員設置 事業費 重点事業・新規事業 8	39,090	30,315	8,775	県立高等学校に在籍する日本語によるコミュニケーション能力が十分身につけていない外国人生徒や障害等により特別な教育的支援を必要とする生徒に対して、学習活動や学校生活等の支援を行う支援員を配置する。 1 外国人生徒サポート事業 34,050 千円 (24,675 千円) 2 特別支援教育支援員設置事業 5,040 千円 (5,640 千円)
23 外国人語学講師配置 事業費	147,131	147,061	70	1 外国青年語学講師配置事業費 122,736 千円(122,736 千円) 人員：29 人 2 在県外国人語学講師配置事業費 24,395 千円(24,325 千円) 配置校数：延べ 35 校
24 三河山間地域連携教育 推進事業費	1,039	1,039	0	地域人材や地域資源を活用した異校種の生徒が参加する体験学習等を通して、生徒の個性や創造性を伸ばすとともに、地域の教育力を生かした中高連携を一層推進し、将来の三河山間地域を支える人材を育成する。 ・地域人材や地域資源を活用した野外体験学習 ・異校種の生徒が合同で参加する研修会 ・中高連携教育便りの作成